

# A コース (3.3km)

柳井田(中領八幡宮)～泉福寺～  
尾崎墓地～柳井田コース



## A-1 なかりょうはちまんぐう 中領八幡宮(柳井田)



1205年、豊前宇佐八幡宮の分霊を勧請し、1344年に社殿が造営されました。幕末に八幡宮の馬場先に関門と砲台場が設けられました。

## A-2 げんぼくあと オゴオリザクラ原木跡 (泉福寺)



天然記念物であったオゴオリザクラ(ヤマザクラの一種)が平成27年倒木の為、指定解除されました。現在は、接ぎ木等で増やした苗木を植栽しています。天文4年の薬師如来があります。

## A-3 みやけせいしちろう じゅひ 三宅政七郎の寿碑 (尾崎)



三宅政七郎は、武芸の御前試合で見いだされ、諸隊の師範として活躍しました。

## A-4 ほりしんごろうふさいはか 堀真五郎夫妻墓 (尾崎)



堀真五郎は幕末に八幡隊の総督、鋭武隊の指導者として活躍しました。尾崎墓地の一画に墓があります。

## A-5 こうか ひ 「校歌によせて」碑 (小郡中学校)



「おほいなる  
夢見るものな  
かりせば 人の  
せいかに わび  
しからまし」

土井晩翠が昭和

22年小郡中の校歌を作詞した際の、「校歌によせて」の歌の一節で、校門わきにあります。

## A-6 あわしまだいみょうじん 淡島大明神 (柳井田)



もともとは中領八幡宮境内にありましたが、旧石州街道ぞいの柳井田にまつられています。淡島様は腰から下の病気に効能があるといわれています。

# B コース (3.5km)

小郡総合支所～山手～栄山公園～  
矢足コース



## B-1 けんりつやまくちのうがっこうあと 県立山口農学校跡 (小郡総合支所)

小郡総合支所の地続きに山口農高の前身である「山口農校跡」の碑が建っています。

## B-2 せんぶくじ じぞうさま 泉福寺の地蔵様 (山手下)

山手下の龍光寺前に建つ地蔵様は、もと柳井田泉福寺のもので 1673 年に引越しました。泉福寺の歴代和尚の墓は、三原屋事件殉難士墓のすぐうしろにあります。

## B-3

みはらやじけん  
**三原屋事件**  
じゅんなんしはか  
**殉難士墓**  
(山手下)

幕末、長州藩と幕府の対立を決定的にした三原屋事件の悲劇をいたみ、昭和3年に建てられたお墓です。

## B-4

かんどうぎょうじゃはか  
**観道行者墓**  
(山手下)

旧招魂社入口近くの道のそばにある、黒ずんだやや大きな墓が、優れた法力を持ち権大僧都にまどなった江戸後期の行者(山伏)金剛院観道の墓です。

## B-5

きゅうかんざい  
**旧官祭**  
やましてしょうごんしゃ  
**山手招魂社**  
(山手下)

旧招魂社には「禁門の変」や「四境戦争」で戦(病)死した諸隊兵士13柱の墓があります。

## B-6

さかえやまこうえん  
**栄山公園**  
(山手下)



栄山公園は山に抱かれた自然公園で、春は桜、秋は紅葉がすばらしい住民憩いの場として広く親しまれています。

## B-7

やまぐちだいじんぐう  
**山口大神宮**  
ようはいしよ  
**遥拝所**  
(栄山公園)



幕末、藩庁が山口への自由な通行を禁止したため山口にある大神宮を遥かに拝むところとして1864年に創建されました。

## B-8

だいじんぐうたかとうろう  
**大神宮高灯籠**  
(山手下)



津市下の旧山陽道から参道入口にあたるところにありましたが、昭和33年頃に山口大神宮遥持所近くに移されました。

## B-9

ごちゆうあん  
**其中庵(矢足)**



自由律俳人種田山頭火が昭和7年から昭和13年までの6年間を過ごした場所で、現在の庵は平成4年につくられました。

## B-10

おおぼんだいみょうじん  
**黄幡大明神(矢足)**



地域の鎮守として守られてきた黄幡社の境内には1773年に建立した鳥居や灯籠があります。



# C

コース (4.3km) 弁天池～長谷～柏崎コース



# C-1

べんてんいけ  
弁天池(柏崎)



県 JA ビルの下の溜池で、奥に小さな社があり弁天堂がまつられています。

# C-2

しながわじんじや  
品川神社

県 JA の外来駐車場の後ろに、こじんまりとしているが立派な神社があります。

# C-3

よつつじ しぞうさま  
四辻の地蔵様

県 JA を通り過ぎ、県道新山口停車場長谷線を横切って 30m 進むと四辻があり、その中央付近に地蔵様がまつられています。

# C-4

さんざろ しぞうさま  
三叉路の地蔵様

地蔵様が浮き出た石像で道端にさりげなくまつられています。

# C-5

しもごうだんそう  
下郷断層

小郡にある唯一の断層で、山から民家の裏側に断層の跡があります。

# C-6

こうちしゃ  
河内社

中国電力変電所の北側にある調整池の横に鳥居が見えます。

# C-7

ほんおだいしさま  
69 番御大師様

柏崎公民館の入り口に大師を本尊としてまつってあります。

# C-8

ほんおだいしさま  
47 番御大師様

# C-9

おおとししゃ  
大歳社・  
ほんおだいしさま  
43 番御大師様



# C-10

クロガネモチ(柏崎)



柏崎の岡村家にあるクロガネモチは、県内では、最大級のものとして昭和 57 年に市指定天然記念物となった文化財です。

# C-11

ほんおだいしさま  
6 番御大師様

JR 山陽新幹線に沿って延びる道端のごみステーション隣にまつられています。

# D コース (2.8km)

小郡勘場跡～東津～巖島神社～  
津市～新丁コース



# D-1

おごりかんばあと  
**小郡勸場跡**  
 (新丁)

現小郡ふれあいセンターと新丁公民館の  
 一帯に小郡宰判の勸  
 場と御茶屋がありま  
 した。

# D-2

しょうかんぜおんぼさつ  
**聖観世音菩薩**  
 (東津下・正福寺)



東明山正福寺境内の観音堂  
 に安置されている聖観世音  
 菩薩は平安時代につくら  
 れ、昭和 58 年に市の指定  
 文化財の彫刻となりました。

# D-3

いつくしまじんじゃ  
**巖島神社**  
 (東津中)



元橋にあった巖島神社（猿  
 宮様）は、東津が開作され  
 た時現在地に移転しました。  
 六百巻から成る大般若経は  
 市の文化財に指定されてい  
 ます。

# D-4

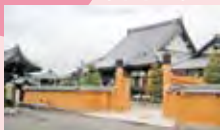
みちしるべ  
**道標(田町)**



津市角の山陽道と石州街  
 道分岐点にある道標で、  
 「右京江戸」「左萩山口石  
 見」とあり、裏面に「牛馬  
 繫事無用」の文字があり  
 ます。

# D-5

さいはざんしんこうじ  
**済波山信光寺**  
 (津市上)



浄土真宗本願寺派の寺院  
 で、大内義興の招きで中  
 倉筑前守通清が伊予より来  
 山。幕末、境内では諸隊・  
 農兵隊の銃陣稽古が行わ  
 れました。

# D-6

ろくじゅうろくぶくようとう  
**六十六部供養塔**  
 (津市下・光明寺)



1707 年下総国土屋利兵衛が当  
 地で病没したため建てられたもの  
 です。その横には、鎌倉幕府の  
 評定衆であった 15 代長井半右  
 衛門の弟、孫左衛門が 1736 年  
 に建てた大宝篋印塔たいほうせういんとうがあります。

# D-7

みはらやほんじんあと  
**三原屋本陣跡**  
 (津市下)



現西中国信用金庫小郡支  
 店に、1863 年に起こった  
 幕府使節殺害事件現場の  
 三原屋本陣がありました。

# D-8

しらひげしゃ  
**白髭社**  
 (大正上)



小郡鰻頭の金子老舗の工場  
 脇に白髭社の小さなほこら  
 があります。藩政時代には  
 煙火を上げる狼煙場でした。

# D-9

おごりかんばあと  
**小郡勸場跡**  
 (新丁)

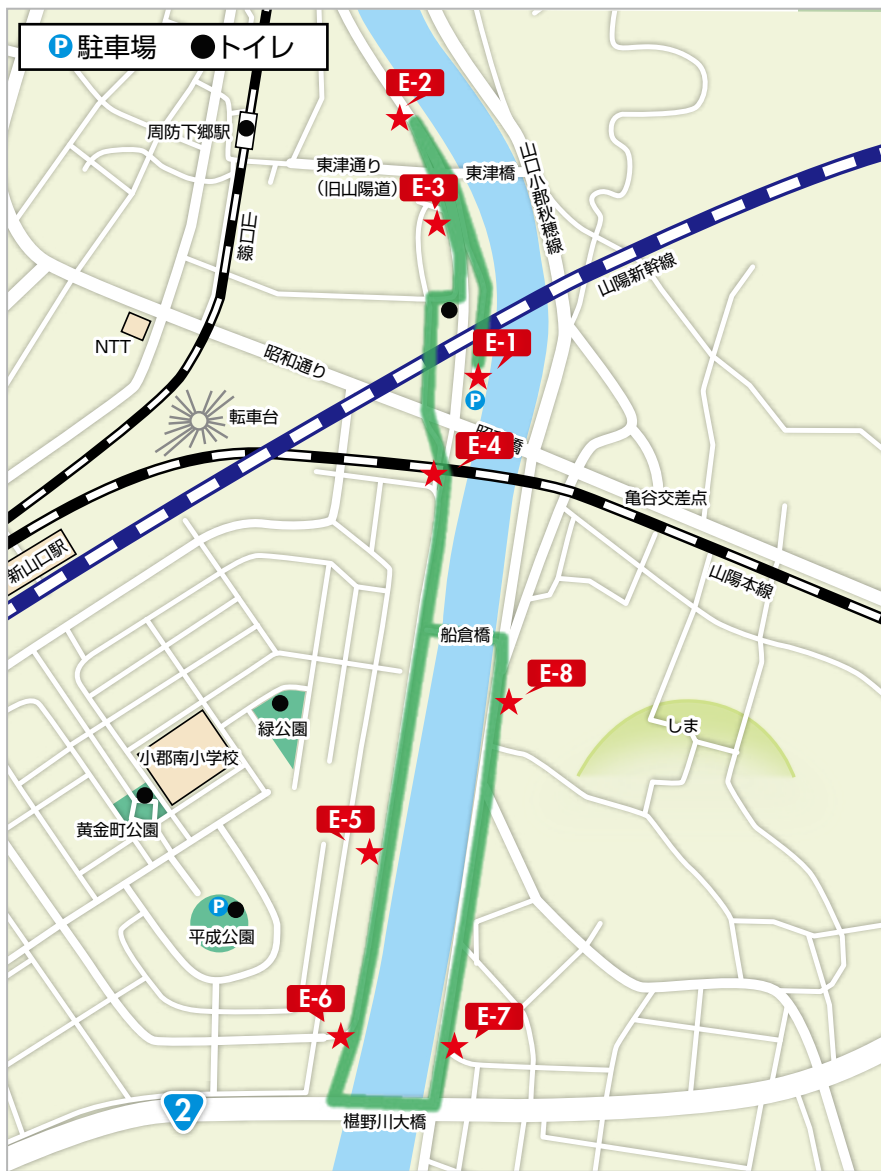


小郡宰判の勸場と御茶屋跡  
 が現新丁公民館です。傍ら  
 には当時植えられたといわ  
 れる大きなクスノキの切り  
 株があります。

# E

コース (4.0km)

榎野川東津河川公園～榎野川修工記録～  
三軒屋～榎野川大橋～名田島～東津コース



## E-1 ふしがわひがしづかせんこうえん 榎野川東津河川公園

榎野川は大雨のたびに洪水がありました。川幅を広くし河川公園を作ってから、氾濫もなく毎年7月の最終土曜日の夜、花火大会が開催されます。

## E-2 ふしがわしゅうこうきひ 榎野川修工記碑 (東津土手)



榎野川の改修を明治29年に完成した記念に、明治33年東津土手に修工記碑が建てられました。

## E-3 はんまいっだしそうごあと 藩米津出倉庫跡 (東津上)



東津橋下手にある江戸時代の倉庫跡で、萩藩は小郡・山口・美祢3宰判の年貢米をここに集め、船で大坂や萩などに送っていました。

## E-4 あかれんが 赤煉瓦のトンネル (東津上)



JR 山陽本線の下を通るところに、長さ約40mのトンネルがあり、そのうち8mが明治33年、山陽鉄道が敷設されたときにつくられた赤い煉瓦組みが今に残っています。

## E-5 おおとしさま 大歳様(三軒屋)



東津の厳島神社から移され、榎野川下流の川べりにあり、ほこらの中には平安貴族をイメージした像がまつられています。

## E-6 やまぶしはか 山伏墓



修行していた僧の墓。

## E-7 なたじまろくしんじやおたひしょ 名田島六神社御旅所



この辺りに「中渡し」の渡舟地がありました。

## E-8 ふたじまようすいせき 二島揚水井関

田に水を引く為、水をせき止めて水量を上げる場所。



# F

コース (3.0km)

一里塚～石ヶ坪山頂～百谷窯跡～  
妙湛寺～元橋コース



## F-1

### いちりづか ひ 一里塚の碑(元橋)



元橋の旧山陽道筋に「一里塚」の石碑があり、小瀬川から二十二里、下関から十四里とあります。(1里は4Km)

## F-2

### いしかつぼさんちょう 石ヶ坪山頂(元橋)



小郡の東南に位置する標高 122m の山で、平成 10 年、東津の有志によって開かれ、元日登山や観月会などで広く親しまれています。

## F-3

### ももだにかまあと 百谷窯跡(元橋)

平安時代前期の登り窯のひとつで、須恵器といわれる土器を焼いていました。元橋の山道を少し登ったところにあり、昭和 53 年県指定文化財となりました。



## F-4

### こうしんづか 庚申塚(1813年)と ふるみょうじん 古明神(元橋)



もとは、百谷の巖島神社跡に社殿があり、「古明神」と称しておまつりしていましたが、天保末年頃に解除され石祠のみを現在の地に移しました。この地は、かつて百谷にあった巖島神社の御旅所(神社から出られた神輿が巡行途中に休憩・宿泊・目的地として仮にとどまる場所)でした。

## F-5

### ふどうさんみょうたんじ 不動山妙湛寺(元橋)



臨済宗東福寺派の寺で、大内時代には大伽藍として多くの建物がありました。妙湛寺境内の一隅に豊久丸の墓があります。

# G コース (3.6km)

林家の石垣～山口農高～椎ノ木峠トンネル～  
熊野神社～岩屋・仁保津コース



# G-1

はやしけ いしがき  
林家の石垣(仁保津下)



幕末の大庄屋、林家の本宅で、石垣に使われているのが結晶片岩と呼ばれる扇平な石で、綾織状の組みあわせは独特の重厚感と美しさがあります。

# G-2

はやしゆうぞうおきなぞう  
林勇蔵翁座像  
(仁保津下)



著名な彫刻家 山畑阿利一が作った林勇蔵の座像で、山口農高通り左側の上郷公民館隣にあります。

# G-3

こうし たろきち ひ  
孝子・太郎吉の碑  
(仁保津下)



太郎吉は地元の佐々木家の祖先で幼少よりよく父母につかえ病弱であった弟妹の養育に献身的でした。その為林勇蔵翁座像のかたわらに明治2年に建てられました。

# G-4

こうちやまけんすけさく「へいわのめがみ」  
河内山賢祐作「平和の女神」  
(仁保津下・山口農高)



県立山口農業高校前に建つ著名な彫刻家・河内山賢祐作の平和の女神像です。

# G-5

しいのきだお  
椎ノ木峠トンネル  
(仁保津下)



当時、上中郷の庄屋であった林勇蔵が、段丘の山林・畑を開いて水田とするために掘削した灌漑用トンネルです。

# G-6

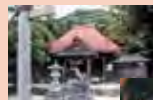
おごりざいご じそうさま  
小郡最古の地蔵様  
(仁保津下)



三条岡会館前の大きな丸彫立像の地蔵様で、高さが2.5m 台座には1722年とあり、小郡で一番古い地蔵様です。

# G-7

くまのじんじゃ  
熊野神社と  
いわとかくら  
岩戸神楽  
(岩屋)



東陽寺の鎮守として紀伊の熊野本宮から迎えた古いお宮です。1582年に焼失した社殿の再建を祝って奉納された岩戸神楽は市指定の無形民俗文化財です。

# H コース (5.0km)

法輪山海善寺～中郷八幡宮～  
新町西・東コース



## H-1 ほうりんざんかいぜんじ 法輪山海善寺 (新町東上)



真言宗であったが 1603 年に浄土宗に改め開山し、1770 年頃現在地に移転しました。本堂には小郡ゆかりの女流画家、葛原輝の牡丹の襖絵や遠藤柳斉の書画などがあります。

## H-2 えんどうりゅうざい 遠藤柳斎 しょうとくひ 頌徳碑 (新町東上・海善寺)



遠藤柳斎は幕末から明治にかけての画家、詩人、教育者です。海善寺には立派なお釈迦様の涅槃図が残っており、門人によって頌徳碑が建てられました。

## H-3 たまきひこすけはか 玉木彦助墓 (新町東上・海善寺)



玉木彦助は小郡宰判の代官でもあった玉木文之進の息子で、1865 年の大田絵堂の戦いに参加し、当時仮設の病院になっていた海善寺に運ばれ死亡しました。



## H-4 なかごうはちまんぐう 中郷八幡宮(新町東上)



大内弘貞が豊前宇佐八幡宮から迎え、飛騨の名工竹田番匠が建てた立派な楼門がありました。

明治 45 年に焼失し、棟札のみ残り、小郡文化資料館に保存されています。

## H-5 かいづか じゅりん 貝塚と樹林(中郷八幡宮)



中郷八幡宮社殿左側に直径約 5m、深さ約 70cm の貝塚が昭和初年に発見され、市指定文化財「中郷遺跡(貝塚)」となりました。貝塚の上の藤棚も古く奥は貴重な照葉樹林(主に榎、椎の木)で、平成 2 年山口県自然記念物に指定されました。

## H-6 さんとうかくひ やなぎ 山頭火句碑「柳があって…」 (新町西)



「柳があって柳屋といふすずしい風」鍛冶畑川緑地治水公園に建つ山頭火句碑。

## H-7 もとせんぶくじ はんしょう 元泉福寺の半鐘 (新町西)



山手の泉福寺のために 1774 年武波平左衛門尉が制作したもので、新町西公民館すぐそばの火の見櫓の上にある半鐘です。昭和 62 年に文化財(工芸品)となりました。

## H-8 きゅうかつらがだにちよすいちえんてい 旧桂ヶ谷貯水池堰堤 (新町西)



大正 12 年に竣工した小郡上水道の桂ヶ谷貯水池の跡で、コンクリート

と石垣、それに煉瓦を組み合わせたアーチ型堰堤です。平成 28 年に国指定の登録有形文化財となりました。

## H-9 ぶち 「トッコウジ」の淵 (新町西)



四十八瀬川の泉福寺橋上流にある淵で、昔は子供たちがよく水遊びをしていました。

江良に東光寺という寺があり、これがなまって「トッコウジ」といっています。

## H-10 つく まちや あと 造られた町屋の跡 (新町東上)



新町は江戸中期に洪水被害を避けるため、60 余戸を約 90m 西側に移して町並みが作ら

れたため、細長い三角形の隙間の跡が今も残っています。

## H-11 もとにいばやししょうてん 元新林商店(新町東下)



昭和 7 年に建てられた近代建築で繁栄した新町通りの面影を残す、屋号を「新し屋」という元新林商店の建物があります。